

# 森林の整備



## 木下沢渓谷冒険の森保全活動と環境教育

東京都八王子市



## 事業概要

東京都八王子市裏高尾町にある木下沢下流域の森林を対象に、市民の憩いの場、レクリエーションの場、多くの生物が生息する場として利活用できる森林にしていくことを目的として、次のような活動を行っている。①歩道・遊歩道、ふれあい広場等の整備、②間伐、風倒木の処理・植樹等の森林整備、③裏高尾・木下沢渓谷連絡会議と連携した情報の共有、④自然とふれあい自然を知る行事の企画・提供、⑤イベント参加者による生物多様性に即した環境づくりの実施と学習。

## 事業成果

新しい拠点・整備エリアにて周辺生物調査を継続して行い、認知向上に向けたガイドブックの配布も続けて行った。こうした活動によって定期的に参加するメンバーのコミュニケーションは活性化した。また、イベント実施における指導者や協力スタッフの担当制が機能するようになり、結

果初回参加者や親子の満足度の高い植樹や間伐を含めたプログラムが実施できるようになった4月には人数制限をかけた上で15組の親子体験が実施できた。自然体験を希求する都市住民に開かれた活動をという思いで、対策をした上でプログラムを展開できたことは大きな成果と考えている。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・普通では体験できないようなことができるのがうれしい。(リピート参加者)
- ・子どもを連れての参加ではあるが、もっと森の整備を試みたい。(リピート参加者)

## 参加者の声

- ・木がドーンと倒れたのがすごかった。(小学生)
- ・ノコギリでたくさん木を伐れて面白かった。(小学生)
- ・種に触れたらパチッとほじけたのが気に入って、次々と触っていた。(小学生の保護者)



トチノキ、ヤマザクラ、ウワミズザクラなどを植樹



間伐体験



下刈



水生生物観察

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：0.2ha  
 植付本数：120本  
 下刈面積：0.2ha  
 除伐面積：0.7ha  
 間伐面積：0.4ha  
 作業道整備：600m  
 生物調査：10回  
 イベント：14回

## 参加者数

都内：323人  
 都外：122人  
 計：445人

## 樹種

トチノキ、ヤマザクラ、ウワミズザクラ

## 富士山緑の募金の森造成事業

静岡県富士宮市



### 事業概要

平成8年の台風7号は、富士山南東斜面に風倒木など甚大な被害を与えた。本箇所は、その復旧を目的に開始された事業であり、国土緑化推進機構が提唱する「国民参加の森林づくり活動」の場として森林ボランティア団体に呼びかけ、今日まで実行委員会方式で緑の募金中央事業として実施してきている。

### 事業成果

植生調査等を継続するとともに、定期的に防鹿柵の巡視等を実施した。なお、区域内にシカの侵入が見られ、ヒノキに被害が発生した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・台風被害跡地への植栽開始から20年が経過し、ヒノキ林、広葉樹林ともに順調に生育しているものの、一部、シカによる森林被害が見られる。



かん木整理



下刈作業後



倒木伐採



ツル切り

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

歩道整備：200m  
 作業道修理：50m  
 シカ柵保全巡視：2300m

##### 参加者数

県内：58人  
 計：58人

## さいたまの森林づくり支援事業

埼玉県越生町、ときがわ町、三芳町、小川町、桶川市、さいたま市



### 事業概要

県内において森林ボランティア体験事業（植樹、間伐、下刈り）を実施する企業や学校等に対し、安全に活動できるよう支援・指導する。これにより地球温暖化防止のための森林整備が進み国民参加の森林づくり運動に寄与することを目的とする。

### 事業成果

予期せぬ事態の中でも、作業時の「基本的ガイドライン」を守って活動することによって森林ボランティア体験活動を実施する企業や小学生に安全な森林作業体験活動をしていただくことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

昨今、子ども達が森林に触れる機会が少なくなっていて

いるため、高校生や小学生が森林ボランティア体験を通じて森林と触れ合い、森林づくりの大切さを感じることができる場は大変貴重である。（緑推関係者）

### 参加者の声

- ・斜面で木を植えるのは大変だったけれど、貴重な体験ができた。ありがとうございました。（小学生）
- ・社会人になって、コロナもあり自然と触れ合う機会が減っていたので良い気分転換になった。これまで縁がなかった森づくりについて学びきっかけになった。（参加者）
- ・コロナ禍での出社制限や在宅勤務が増える中での自然を相手のボランティア活動、慣れないノコギリ作業や苦手な虫に苦戦しつつも普段使わない筋肉や頭を使うためか良い気分転換になっている。（参加クラブ員）



小学生の間伐体験



慎重に作業



小学生の植樹



ヤマザクラ、ヤマグリ、ヤマモミジほかを植樹

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.6ha  
 植付本数：163本  
 下刈面積：1ha  
 除伐面積：4.5ha  
 間伐面積：7ha  
 森林調査：2ha  
 落葉掃き、コースターづくり

#### 参加者数

県内：242人  
 県外：28人  
 計：270人

#### 樹種

オオヤマザクラ、ヤマザクラ、  
 ヤマグリ、ヤマモミジ、コナ  
 ラ、アカマツ

## 玖珠町ふれあいの森づくり事業

大分県玖珠町



### 事業概要

多くの町民ならびに企業ボランティア参加を募り、大分玖珠地域の里山に生物多様に富む豊かな生態系と美しい景観を創出し、人と森との共生する文化の創造に資する。

### 事業成果

コロナ感染予防のため森林整備活動が実施できなかったが、森林整備の維持活動はできた。



下刈



シイタケ植菌



ホダ場整備



肥料散布

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：2.98ha  
原木起こし：100本  
シイタケ駒打：3000駒  
肥料散布：20kg

## 湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県湯河原町



### 事業概要

湯河原町の協力を得て進める企業の森は、下流には町の浄水場があり重要な水源林である。そのため、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりをめざすとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深める体験活動を行うものである。主な活動は、間伐、水源整備、自然観察会等。また、この事業は企業のCSR活動を行うために、企業の要望に沿う形で活動内容を計画している。

### 事業成果

コロナ禍で企業社員による体験活動は実施できなかった

ため、①企業事務局社員による現地調査の実施、②森林インストラクターによる基盤整備の取り組み、③森林の植生について広報誌で紹介した。

①では、体験活動で行う予定だった植栽地の下刈や植生調査、活動地の広場へのアプローチを拡幅して改良するために間伐材を多く利用する工法での階段整備を継続して実施。また、活動開始10周年記念植樹に向け、苗畑を整備、活動地内で採取した苗を育苗している。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・メンバー同体験活動の再開を楽しみに維持管理をしっかり行っている。(森林インストラクター)



事務局社員による現状確認



シイタケ栽培、ホダ場の整備



溪流の整備



広葉樹稚樹の移植

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：0.05ha  
 経路整備：20m  
 植生調査：1500m  
 (経路沿い)  
 広葉樹苗畑管理

## 南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県南足柄市



### 事業概要

緑の募金に協力する企業の森づくり体験活動が円滑に推進し充実した成果を上げるため、当財団の森林づくり活動に係わる蓄積したノウハウを活かし、活動計画の作成、それに基づく森林整備や環境整備、森づくり活動の指導などを行う。今年度は事務局によるベンチづくりと社員が集まり林内整備や間伐作業を行った。

### 事業成果

新たな試みとしてCO<sub>2</sub>吸収量の算出方法をミニ講座で行い、今後徐々にこの森全体のCO<sub>2</sub>吸収量を計ることをめざし定番作業としていくこととした。また、二人挽きノコギリを体験してもらったところ好評で毎回の定番作業とな

った。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・コロナ禍で企業からの参加者もままならず、予定した計画内容が予定どおりに実行されないことによって考えさせられる1年となった。これまでの企業の皆さんの成果を絶やすことのないよう基盤整備に取り組むとともに、フィールド周辺で拡大するナラ枯れに対しても、予防や利活用にも取り組みたい。

### 参加者の声

- ・久しぶりの活動でした。天候は曇り、暑くなかったものの、マスクをしながらの間伐、森林整備は厳しかった。(企業担当者)



作業前のストレッチ



林内整備



活動に参加したみなさん



ミニ講座

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

間伐面積：0.01ha  
林内整理：0.05ha  
ベンチづくり：3基

##### 参加者数

計：55人

# 多様性を高めるモデルフォレストづくり「フォレスト21さがみの森」

神奈川県相模原市



## 事業概要

森と人の関係を再構築し森づくりの輪を拡げ、持続可能な社会の基盤となる生態系豊かな森をつくりながら、事業の展開をめざす。本事業を市民参加によるモデルとして発信し、国内における放置人工林をはじめとした森林への関心離れへの解決に結びつけたい。主な活動は、①生物多様性や地域の環境に配慮した森づくり活動、災害に強い森づくりの推進、②健全な森づくりのための知識・技術のスキルアップ、③初心者や子ども向けの森林環境教育や、森林サービス産業の創出に向けた活動、④森林環境のなかで心身をリフレッシュできる活動など。

## 事業成果

2019年豪雨災害を受けて、その対策を市民参加でできないかと考え、2021年10月～12月に「災害対策研修」を実施、県内外より96人の参加があった。この研修に合わせてオン

ラインでイベントを行い活動認知を全国に広げることができた。また「人工林の多様性を高める森づくり」を実践していくため、照度・植生のモニタリングと合わせて、虫害にあったコナラ林での多樹種構成のための植林、ナラ枯れ被害拡大防止のための防止テープ貼り作業などを行い、より多様性のある森林へと進めることができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・ボランティアによる細やかなケアが人工林の育林に活かされていた。今後多様性を高めていく方針であれば、照度や樹冠にも着目すると良い。上空からドローンで調査するのも一手だろう。(林業技術センター研究者)

## 参加者の声

- ・この森全体の将来展望、育み方などもっと勉強していきたい。(50代)



災害対策研修での作業道補修



土砂崩壊防備



ナラ枯れ対策



カエデ、モミほかを植樹

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.02ha  
 植付本数：50本  
 下刈面積：0.3ha  
 除伐面積：2ha  
 間伐面積：0.6ha  
 森林資源活用：3回

#### 参加者数

県内：148人  
 県外：187人  
 計：335人

#### 樹種

カエデ、モミほか



## 「赤西溪谷・水源の森」保全事業

兵庫県宍粟市



### 事業概要

(株)日本触媒および森林管理署と協働して森林整備などを行うことにより、環境林、水源かん養林を保全するとともに、あわせて自然保護、生物多様性について理解を深める。当初予定された企業の従業員などによる3回の森林整備活動は、前年度に引き続き新型コロナウイルスのため全て中止となったが、NPO会員主体で以下の活動を実施した。①令和3年11月にNPO会員で現地を訪問し、植樹地の獣害防止柵の保全作業を実施するとともに、溪谷の自然観察を実施した。②令和4年4月に企業の担当者とNPO会員で現地を訪問し、前年からの冬季の積雪による被害状況調査と以降の活動の課題や必要な作業について検討した。③令和4年8月に企業の関係者とNPO会員で現地を訪問し、植樹地の下刈を実施した。

### 事業成果

植樹地で、成長したヤマザクラの獣害防止ネットを取り

外し、雪害や獣害で変形や倒れた樹脂製ネットの一部をワイヤメッシュ柵に取り換える試みを行った。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・社員参加型の森づくり活動は中止となった。本年度もNPO関係者にもご協力いただき、事務局関係者で春と夏に現地査察を実施した。夏には恒例の植樹エリアの下刈など維持管理作業に取り組むことができた。(企業の活動企画担当者)

### 参加者の声

- ・活動で多くの社員が赤西溪谷の素晴らしい自然に接し、森の役割・大切さを理解し「森づくりは人づくり」へのつながりを体験していただいたことは大きな成果であった。今後、植樹木が同溪谷の色どりに一役買ってくれることを願っている。(80代会員)



獣害防止柵の保全



遊歩道の倒木処理



下刈



植樹地の状況確認

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：0.2ha  
 獣害防止柵保全：1回  
 現地調査：2回

##### 参加者数

県内：36人  
 県外：8人  
 計：44人

## 協働によるSDGsの森づくり事業

宮城県利府町



### 事業概要

コロナ禍により自然体験の機会が減少しているため、企業等との協働により安心して活動できる森を整備し自然体験を普及することを目的として、ENEOS(株)とともに整備活動を行うだけでなく、県内の親子・小学生・高校生に対する自然体験イベントを開催。また、地域ボランティアの充実を図るため森づくり講習会を実施した。

### 事業成果

高校生ボランティアによる森づくり体験イベントを初めて実施し、100人を超える高校生の協力もあり、大規模な森林整備がすることができた。感染対策を講じた上で、イベントや整備作業を実施できるようになった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・マスク着用等の感染対策を講じた上ではあるが、イベント数や規模が新型コロナ流行前に戻りつつあるはうれしい。(ボランティア)
- ・たくさんのナラ枯れを処理した。少しは森がすっきりしたように見えるが、伐ると新しい枯損木が見つかるので、これからも根気よく処理していかなければいけない。(ボランティア)

### 参加者の声

- ・ヒノキが倒れる瞬間はとても興奮した。貴重な体験になった。(ボランティア高校生)
- ・学校では見られない子ども達の姿を見られた。良い学びと体験の場となった。(小学校教員)
- ・植えた木が立派に育つように見守っていきたい。(地域ボランティア女性)



広葉樹を植樹



遊歩道での刈払い



チェーンソーの使い方研修



遊歩道整備

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.11ha  
 植付本数：60本  
 樹勢回復：80本  
 下刈面積：0.8ha  
 除伐面積：1.1ha  
 間伐面積：0.01ha  
 森林資源活用：3回  
 クラフト体験：2回  
 遊歩道整備：130m

#### 参加者数

県内：392人  
 計：392人

#### 樹種

ミズキ、ヒノキ、コキアほか

## 「安曇野エア・ウォーターの森」森林整備事業

長野県安曇野市



### 事業概要

エア・ウォーター(株)は関連事業地が安曇野市にあるため、市内での森林保全に貢献していきたいと考えてきた。そこで、市役所と森づくり協定を締結。皆伐地の森林更新をめざし、以下の活動を実施した。①地拵え／植栽地エリアに繁茂するササの刈り取りと、地拵えを実施。あわせてササの根を剪定鋏等で切り取り穴掘りしやすい環境を整備。②植栽／ミズナラを植栽。③下刈／木周りの草の刈り取り。④散策路の整備／ササ刈りを行い散策路の機能回復を行った。⑤看板作成及び設置など。

### 事業成果

皆伐跡地に繁茂したササ等を刈払い、地拵えを進め、再植林を行うことができた。また、植林後の下刈を行った。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・意欲ある社員ボランティアが多く、集中しての作業は目を見張るほどだった。(行政職員)
- ・人の手で進めるタイプのボランティア活動の有効性を実感した。(林業士)

### 参加者の声

- ・これから従業員でこの森を育てていきたい。
- ・植えた苗木がきちんと育っている姿を見てうれしかった。



植樹の様子



ミズナラ300本を植樹



散策路を整備



看板を設置

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.15ha  
 植付本数：300本  
 下刈面積：0.15ha  
 散策路整備：200m  
 刈払・地拵え：0.15ha

#### 参加者数

県内：49人  
 県外：2人  
 計：51人

#### 樹種

ミズナラ

## 緑の祭典 “かながわ未来の森づくり” 2022 in はだの

神奈川県秦野市



### 事業概要

平成22年に開催した全国植樹祭を契機として、神奈川県の森林再生の取り組みを発信するとともに、県民との協働による森林づくりを推進していくため、持続可能な森林づくりと自然との共生をめざす秦野市において、放置森林を憩いと潤いを創造する落葉広葉樹林へ誘導する森林づくりを象徴するイベントとして開催した。また、水源環境保全・再生の取り組みなど、県全体の森林・林業関係施策の成果等を示し、森林・林業への見識を高めてもらった。

### 事業成果

参加者は持続可能な森林づくりと自然との共生を体験で

きたのではないかと思う。県が行う水源環境保全や再生の取り組みなどを発表する良い機会だった。

### 事業をよく知る関係者の声

植樹が早く終わる方々も多くなったため、午後のプログラムに参加せずに帰る方用の送迎バス発車までの時間が相対的に長くなってしまった。こうした反省点を踏まえつつ、多くの人に参加いただけたことから継続して行っていきたい。(森林再生課長)

### 参加者の声

- ・森林インストラクターから森林や草花の説明を受けながらの植樹は楽しかった。また参加したい。(公募参加者)



463人が参加



緑の少年団も参加



広葉樹を植樹



丸太切り体験

#### 実績とりまとめ

**作業内容**  
樹勢回復：440本

**参加者数**  
県内：463人  
計：463人

## 日本曹達グループの森づくり事業

新潟県上越市



### 事業概要

日本曹達グループ起業の地である新潟県上越地域の「くわどり市民の森」内で、地域に貢献するため、新潟県民・上越市民に親しまれる森づくりを実施する。本年度は、スガ池に流量の調節できる管を設置しての排水口の改善、森林整備、植樹、周知用看板の改善を実施した。

### 事業成果

スガ池湛水化の促進、森林整備の促進を行った。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・上越市と公園指定管理者の要請に応え、森林整備を推進することができ、とてもありがたい。

### 参加者の声

- ・技術や経験を通じて地域に貢献できてありがたい。



モミジ、アジサイを植樹



支柱を立てる



下刈



森林整備

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.01ha  
 植付本数：20本  
 下刈面積：0.1ha

#### 樹種

モミジ、アジサイ

## 木曽川・やおつ水源の森づくり活動

岐阜県八百津町



## 事業概要

目的は、木曽川流域に生活する住民に潤いと安らぎを与える自然豊かな水源の森を整備し、水源涵養機能を充実させるとともに森林生態系や生物多様性について学ぶことである。主な活動は以下のとおり。名古屋駅前高層ビル群や奥三河の山々が一望できる海拔500mの高原を会場とし、下流域にて生産活動を行うキリンビール(株)名古屋工場の従業員と家族や流域に生活する住民が協力し、サクラの間伐、地域内の遊歩道の補修作業、下刈などの活動を行うとともに間伐材を利用した箸づくり体験などを行っている。

## 事業成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア参加の交流を含めた整備事業は中止したが、春秋に地元ボ

ランティアによる下刈を実施した。夏と秋に業務委託による下刈による水源の森の保全、整備に努めた。11月にサクラの勉強会を実施し、知識・技術を身につけてもらった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・年2回の環境整備活動とサクラ勉強会を実施することができて良かった。事業を継続していくことが大切であるため、小規模でも引き続き事業を実施したい。

## 参加者の声

- ・広範囲の草刈りだったが、参加者も多く天候にも恵まれたため、予定どおり作業が完了した。きれいになった水源の森を見ると大変気持ち良くリラックス効果大です。(40代男性)



下刈



下刈作業に参加のみなさん



サクラの勉強会



看板を設置

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積：8ha  
サクラの勉強会

## 参加者数

県内：132人  
計：132人

## 3.11 復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業

千葉県山武市



### 事業概要

津波により壊滅した千葉県山武市蓮沼海岸林の再生を図るとともにボランティア活動の継続性の向上をめざす。行った事業は以下のとおり。①千葉県北部林業事務所が推奨する海岸林に適した抵抗性クロマツを唐鋏等を用いて、ボランティアを募って1100本植えた。②過去に植えたもので枯れた箇所への補植100本を行った。

### 事業成果

新型コロナウイルス感染症による影響で、広く市民が参加する活動を展開していくことは困難ではあったものの、県内企業ボランティアの受け入れを積極的に行ったことで、滞りなく作業を終えることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・活動の最初から参加しこのプロジェクトの進捗を体感している。継続していることは素晴らしい。
- ・ボランティアの力が集まり個人個人ができることを続けることで、1つの結果となっている。森づくりは長期的な作業であるが、今後もその機動力に期待したい。

### 参加者の声

- ・これからは下刈などの作業になるが、体力が続く限り参加したい。(50代男性)
- ・家族で参加した。これからの時代を創っていく世代とのボランティアはロマンがあっている。(30代男性)



抵抗性クロマツを植樹



作業はていねいに



1100本を植樹



子どもたちも参加

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：1.1ha  
植付本数：1100本  
補植：100本

##### 参加者数

県内：21人  
県外：4人  
計：25人

##### 樹種

抵抗性クロマツ

## 「岩沼・荒浜潮除須賀松の森」保育事業

宮城県岩沼市、仙台市



## 事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた仙台市沿岸域の海岸防災林について、その再生に向けて地域住民等との協働により保育活動を行いながら、失った「みどり」の重要性やその働き等への理解と関心を深めてもらい、海岸防災林再生に対する気運の醸成と、「みどりの文化」の普及啓発を図る。

## 事業成果

昨年に引き続き次代を担う子どもたちの参加を促すことに力点を置いた。日常生活で様々な制約を受けている子どもたちが楽しく草取りやツル取りに励む姿は印象的であった。活動に全面的に協力をいただいた団体が、創意工夫して被災地の自然環境の回復状況の観察や釣りなどの活動を組み合わせながら体験学習を行ってくれたこともあり、引率教員から「充実した活動」であり、来年度も引き続きと活

動したいとの要望をいただいた。

## 事業をよく知る関係者の声

- 子どもたちは校外学習に行く前に震災前の荒浜について学習した。びっしりと植えられていた防災林が津波で流されてしまったことを学習していた子どもたちは、新しく植樹されている防災林を見て「すごい！またあの時のように戻ってきている」と話していた。子どもたちは自分たちも力になりたいと一生懸命除草活動に取り組んだ。「また絶対来たい!」と話す子どももいて荒浜とのつながりが生まれうれしく感じた。(仙台市立小学校教員)

## 参加者の声

- 大震災で多くの防災林がなくなり、そのためにまたマツを育て直していることが分かった。(小学校5年男子)
- 海岸防災林の役割が理解できた。子どもと一っしょ作業したが、苗を育てるのは大変だと思った。(30代女性)



小学生による保育活動



高校生も参加



親子で活動



「県民協働の保育活動」

## 実績とりまとめ

## 作業内容

保育活動：1.48ha  
海岸防災林周辺地域の自然環境観察など体験活動

## 参加者数

県内：596人  
計：596人



## 3.11 復活の森づくり～千葉県一宮町東浪見海岸林再生事業

千葉県一宮町



### 事業概要

海岸林造成の早期達成のため、2022年4月に植栽したエリアの下刈を実施。150区画、9600㎡に植栽した7350本の苗木の生育を図るため下刈を実施。海岸林所有者の千葉県の森づくり計画に応じて2度刈りで実施。下刈の面積は1.92ha。

### 事業成果

2022年4月に新規植栽した場所は苗木の活着状況も良く、今後の生長に期待がもてる。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ 枯れたものは5%未満、苗木の生育状況は良い。
- ・ 2年目となる来年は、今年と比べて雑草の繁茂が激しくなると思われるので、早めの対処が必要となる。

### 参加者の声

- ・ とても暑い日の作業となったので、ボランティア時間が短めで残念だった。
- ・ 下刈はまた1年後とのことだが、それまでの間に何かあれば参加したい。



1.9haを下刈



作業前



作業後



ボランティアのみなさん

#### 実績とりまとめ

作業内容  
下刈面積：1.92ha  
参加者数  
計：66人

## 離島社会存続に向けた水源林の整備と活用

北海道羽幌町



## 事業概要

海鳥繁殖地であり、ナンバンエビやウニなどの豊かな生態系サービスをもたらしてくれる天売島の島社会の存続に貢献するため、水源林とその整備で発生する木材の島内での有効利用を図る。主な活動は以下のとおり。①生態学的混播・混植法による生物多様性が高く持続性のある人工混交林の造成。②育成木施業により、手入れの遅れた単一樹種の水源林を生物多様性の高い安定した森林へと変換。③水源林の手入れで発生する木材を馬で搬出、簡易製材機で製材し、景観に合った木造シーカヤック艇庫を建設。

## 事業成果

コロナ禍のため、令和3年活動を令和4年に延期し、下記の成果を得た。実生群ポット苗の植栽、次年度用の植栽地の整備、実生群ポット苗の養成。水源林の育成木施業のためのトドマツ林の調査と伐倒、馬搬。集材したトドマツ

の玉切り、簡易製材機による製材、前回の活動で建設した柱と梁への屋根部分の施工。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・活動時期は、島の2大産業である観光と漁業の繁忙期に当たり、本活動に協働するのは困難な時期である。しかし、仕事の合間に時間を割いて活動に参加していただいた。天売島を行政区とする羽幌町の対岸の方々が水源林造成に関わった。

## 参加者の声

- ・本活動では、森林科学を学ぶ学生が同行している。コロナ禍にあり、彼らは現場で学ぶ機会の多くを奪われてきた。本活動は、彼らに現場で実践的に森づくりを学ぶ機会となり、提出されたレポートには、現場で学ぶ機会を得ての感謝などが熱く記されている。



ポット苗



防草シートを敷設したところにポット苗を植える



トドマツ林の間伐



馬による木材搬出

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：235本  
 下刈面積：0.1ha  
 間伐面積：0.5ha  
 森林資源活用：20m<sup>3</sup>

## 参加者数

道内：82人  
 道外：2人  
 計：84人

## 樹種

自生広葉樹20種

## 森の笠地蔵プロジェクト2021

岩手県遠野市



### 事業概要

間伐材の薪利用の普及拡大と、薪を自力で調達するのが困難となっている一人暮らし高齢者の支援を行う。主な活動は以下のとおり。①森林ボランティアと間伐・造材・集材・搬出・薪づくり及び薪棚整備、②自力で薪調達困難な高齢者の調査、③自力で薪調達困難な高齢者の家に薪を無料で配達、④本事業を広げるためのチラシ作成、⑤森林整備や薪利用の意義をホームページで発信。

### 事業成果

これまでも森林整備を行い間伐材を搬出し薪にする資源化を行って来たが、薪の入手に困っている高齢者への薪の配達という新たな試みにより、薪づくりのボランティア参

加者も増加し、また、社会福祉協議会の各地域相談員との協力関係も生まれ、森林整備と福祉という新たなネットワークが生まれた。

### 事業をよく知る関係者の声

・市内には、薪ストーブを使い続けている高齢者が多く、このような事業はありがたい。(遠野市社会福祉協議会職員)

### 参加者の声

・夫が去年亡くなって、薪をつくれなくなり困っていた。ありがたい。(70代女性)  
 ・体を壊して薪づくりできなくなったので助かっている。(80代男性)



間伐



間伐材の搬出



薪づくり



高齢者宅に薪を配達

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積：20ha  
 薪づくり：13回  
 薪棚づくり：12回  
 薪配達：19回

#### 参加者数

県内：837人  
 計：837人

## 栗原市行者の滝周辺「癒しの森」植樹活動

宮城県栗原市



### 事業概要

栗駒山地に地震による大崩落の後、行者の滝周辺の地が工事のための土砂置き場になっていて、草木も生えない荒れ地になっていた。その場所に地元で育った苗や、地域の山でドングリから苗を育て植樹、この地を癒しの森に復元するための活動である。

### 事業成果

年々増え続けている植樹面積を下刈することは、大変な作業であり苗を誤って刈り込んでしまうということが多々ある。対策として苗のそばにタケを立てる作業を試みた。排

水路増設とイノシシ対策として、テープを植樹周囲の林に取り付けた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・市が行わなければならないことをしていただき感謝している。(栗原市長)

### 参加者の声

- ・植樹回数が進むにつれて、下刈面積が増えて作業が大変である。植樹は楽しく、これからどのように育つか楽しみ。



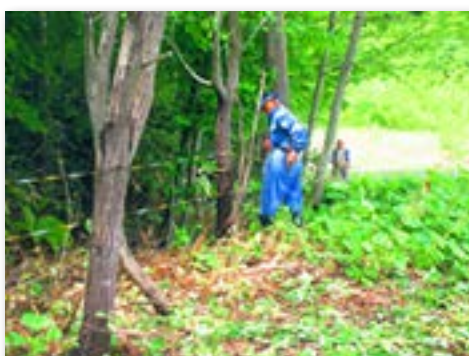
植樹地の整備



ブナ、ミズナラほかを植樹



下刈



イノシシ対策のテープ張り

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：300本  
 下刈面積：0.9ha  
 排水路作成：3回

#### 参加者数

県内：125人  
 県外： 2人  
 計：127人

#### 樹種

ブナ、ミズナラほか

## プロジェクトD(どんぐりプロジェクト) 福島

福島県郡山市



### 事業概要

東日本大震災による津波で被災した森林を回復させるべく、日本環境協会が主催となって被災3県で採取したどんぐりを全国の方々に苗木まで育ててもらい、苗木を国有林等へ植樹する活動。本学は福島ふれあいの森で当初から協力していた縁があり、日本環境協会から郡山女子大学へ「プロジェクトD」を引き継いでいる。年に4回の活動(下刈+枝払い各2回)を実施している。

### 事業成果

SDGsに関心のある方に広く声をかけたところ、リコージ

ヤパン福島支社からも協力を得られた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・令和4年6月の開催では、幅広く(全教職員・環境サークル・ボランティアサークル・SDGs活動をしている生徒・SDGs活動に熱心な企業)声をかけたところ、多くの人が参加し有意義な活動となった。

### 参加者の声

- ・ボランティアで交流ができて良かった。(リコージャパン)
- ・蒸し暑くて大変だったが、いい汗が流せた。(教職員)



作業方法の指導



枝払い



作業に参加したみなさん



どんぐりプロジェクトの発表

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：2.46ha  
裾枝払い：2回

##### 参加者数

県内：50人  
県外：2人  
計：52人

## 「協力隊の森」事業

茨城県常陸太田市



### 事業概要

1993年に旧里美村（現常陸太田市里美地域）とフィリピンのトレニダッド町と姉妹町村提携を結んだ。以来、ホームステイを通して国際交流が行われたが、2004年、常陸太田市との合併で終焉となった。その後、住民などから活動を懐かしむ声が聞かれたため、OVらが中心となり約2haの植林を開始。今年で14年目の「協力隊の森」事業だが、市の天然記念物サトミイワナが植林地の下流域に生息することから、落葉広葉樹林による森林群落を整えている。

### 事業成果

荒廃地は地拵えを行ったことにより、植林を通して樹木学習などの植樹活動が実施された。多種多様な樹種を植えることにより、樹木特徴や森林生態系について学ぶことができた。今後の中学生や高校生の森林環境学習や水域生態系研究フィールドとしても使用されることで、次世代への

環境教育の拡大を確認した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・植林後の森林セラピーでは気持ちでリフレッシュできた。(50代)
- ・植樹活動の一環としてジビエ料理も食しながら、森や水などの生態系の営みについては会話も盛り上がり、環境教育を見つめ直すきっかけを得た。(30～70代)

### 参加者の声

- ・密植植林に興味を抱き、毎年その成長を見守ることに大きな喜びを感じた。(70代)
- ・植林を行うことが初めての参加者は感動の様子だった。(30代)
- ・参加者の意識の高さに驚き、環境についての話題に大いに盛り上がった。(50～70代)



ミズナラ、ヤマボウシほかを植樹



ていねいに作業



除伐



森林整備

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.4ha  
 植付本数：750本  
 下刈面積：0.5ha  
 除伐面積：0.3ha  
 生物調査：3回  
 森林教室：2回

#### 参加者数

県内：91人  
 県外：10人  
 計：101人

#### 樹種

ブナ、ミズナラ、ヤマボウシ、イロハモミジ、クヌギ、トチノキほか

## トトロの森と狭山丘陵周辺緑地での里山保全事業

埼玉県所沢市、入間市、東京都東村山市、東大和市、武蔵村山市



### 事業概要

生物多様性保全を行うため里山環境を再生し、この様な活動を普及し、経済・人員の支援に繋げ、持続的な里山管理をめざす。そのために下記の内容を行った。①里山管理ボランティア「何かし隊」、地域の協力団体を中心とした里山管理作業を行った。また各団体の自立に向けた基盤整備として、作業道具の確保、作業環境の整備、安全管理と里山管理の技術向上のための研修会を開催した。②危険・支障木等の処理の講習を受講した。③新たなボランティアとそのグループ確保のためのトトロのふるさと基金の活動の理解と普及啓発活動を行った。④裸地化してしまっている土地に関しては、樹林地再生のため所沢市、地域の学生と共にアカマツの植樹活動を行った。⑤ナラ枯れによる森林の荒廃を防ぐため、トラスト地全域を定期的に状況調査を行い、トラップなどを使った対策を行った。また、将来的なナラ枯れ対策という観点から萌芽更新作業も1000㎡行った。

### 事業成果

様々な普及啓発活動により新たなボランティアの協力と新規トラスト地を得ることができている。危険木・支障木の扱いについては、将来的に自前で処理できるよう、職員が初心者用樹上作業講習を受講し、一定の技術を身につけた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・トラスト地になる森は、高度成長期に管理が放棄されたものが多く、伐採作業に必要な用具と使いこなせる技術者が必須です。そして安全に作業するための講習や、道具類の補充や修理費用も欠かせません。(当基金評議員)

### 参加者の声

- ・「自然との共生」を安全に実行できるための心構えと道具の使い方と維持管理を学び、日々の生活に活かされている。(何かし隊40代男性)



「何かし隊」による下刈



湿地環境保全（両生類産卵場作成のための掘削）



落ち葉掃き



ナラ枯れ対策のためのチップ化作業

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.04ha

植付本数：9本

下刈面積：8ha

除伐面積：8ha

間伐面積：8ha

看板設置：2基

ナラ枯れ調査・防除対策

#### 参加者数

計：683人

#### 樹種

アカマツ

## 自然と人とのつながりを再構築する「大房岬 遊びと学びの森プロジェクト」

千葉県南房総市



### 事業概要

2019年の台風被害にあった森の回復を、人の手を入れながら、多様性のある森へ育てていくための整備活動を行った。森づくりや伐採木の活用に興味がある方に参加してもらいながら、人と人、人と自然の関係性の構築に務めた。また、作業だけにとどまらず、子どもたちが学習できる活動になるようプログラム開発を行い、実際に体験してもらうような体制をつくった。

### 事業成果

SDGsをテーマとした森と海をつながりを体験する学習プログラムを開発した。実際に教育旅行の受け入れとして学校にプログラムを体験していただいた。薪ストーブユーザーが森の整備活動を行い、そこで出た間伐材や伐倒木を

燃料として活用してもらった。森づくりのための土壌改善のノウハウを地域の方に向けて発信できた。安全に作業できるよう講習会を開催し、参加者がボランティアとして関わられるような仕組みができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・作業するだけでなく、どういったポイントに気を付ければ木にとって良い環境をつくれるかを学びながら参加できた。

### 参加者の声

- ・海と森はつながっていること、木の成育には土の環境が関係していることを実際に体験しながら学ぶことができた。森に棲む生き物と自分たちの生活のつながりについて学ぶことができた。



土壌環境調査



森の整備活動



森に親しむイベント「ツリーイング」



中学生の森づくりプログラム

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

除伐面積：2ha  
森林体験：15回

##### 参加者数

県内：772人  
県外： 5人  
計：777人



## ちば里山 都市近郊の集える憩いの森づくり

千葉県千葉市



### 事業概要

大規模開発で残された放置林を土中環境を基に環境改善を進める。①タケ類の適切に伐採して竹炭をつくり、土中環境改善に利用。②崖地、道路に空気の水の通り道を土中環境に竹炭や枝を利用して、排水でなく大地に浸透させる。③近隣住民に、ごみ捨て、産廃物放置、森の環境再生などに目を向けてもらうようにした。

### 事業成果

環境改善の認識を広め、遊歩道散策者からの声掛けなどからも、ただ草刈りをしているのではなく、竹炭を使って、土中環境の空気や水の道をつくり、浸透させることが、森を

生き生きさせることがわかった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・奥山の改善と共通する内容が都市近郊の里山でも十分活用できる。基礎的な土中環境のレクチャーを作業前にできると良いのではないかと。

### 参加者の声

- ・ただ穴掘りをするのではなく、環境への配慮や土中の環境を知ることができた。また自分の家の庭も同じこととわかり、さっそく自宅の庭、近くの公園などから改善していきたいと感じた人が多い印象だった。



落ち葉集め



落ち葉ステーション



森林整備



竹炭づくり

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付本数：38本  
道の段切り：45m  
竹炭づくり：24袋

##### 参加者数

県内：76人  
県外：41人  
計：117人

##### 樹種

コナラ、クリほか

## 一般市民による湘南海岸林整備事業

神奈川県藤沢市、平塚市、茅ヶ崎市



### 事業概要

昭和初期から植栽が進められている湘南海岸林において、維持管理をしている神奈川県藤沢土木事務所と連携を取り、海岸林の整備を目的として、①海岸林内のツル切り、下刈、②クロマツの植樹（補植）、③除伐間伐の活動を行った。

### 事業成果

これまでは維持管理を目的とした草刈り、ツル切りがメインの活動だったが、令和3年度ははじめて植栽（補植）を行った。自分で植えた木に対して愛着をもってもらうことで、自然に親しむ人を増やす機会にもなった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・毎回、遠くからたくさんの方が来て作業をしてもらっているのが、大変助かっている。作業を通じて砂防林の役割を知ってもらえる機会になればいいと思う。（神奈川県藤沢土木事務所）

### 参加者の声

- ・初めて参加したが、思っていた以上に大変だった。でも達成感も感じられて楽しかった。（30代女性）
- ・砂防林の果たしている役割を学ぶことができた。木を伐るのも非日常な感じで良かった。（40代男性）



クロマツの植樹



下刈



ツル切り



間伐

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1ha  
 植付本数：50本  
 下刈面積：0.9ha  
 間伐面積：2.0ha

#### 参加者数

県内： 58人  
 県外： 84人  
 計： 142人

#### 樹種

クロマツ

## 市民参加による森林づくり「山と緑の協力隊」

滋賀県多賀町、長野県上松町



### 事業概要

かつてマツ林だった高取山ではヒノキの人工林として整備が進められている。この場所で生育している木の維持管理を目的として除伐・間伐などを令和3年11月に実施。今回は間伐に加えて、滋賀県多賀町内の製材所を見学し木材の流過程を学ぶ機会にもなった。赤沢自然休養林（長野県）での活動は令和3年10月と令和4年5月の2回計画したが、新型コロナウイルスの影響に伴い、令和3年10月は中止とした。木曾ヒノキの生育を目的とした間伐・除伐を行った。

### 事業成果

今年度は高取山（滋賀県多賀町）、赤沢自然休養林（長野県上松町）で合計4日間実施。高取山では当初2日間、間伐を行う予定だったが雨のため、1日は町内の製材所を見学した。参加者からも積極的な質問もあり木材の加工・流通

を知る機会になった。赤沢自然休養林での活動はコロナの影響でこれまで実施できなかったが、今回ようやく開催することができ、活動の再開を楽しみにしていたリピーターも参加してもらえた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・遠いところから参加していただきありがたい。木材の流通や加工など、林業の抱えている課題を今回の参加者にも考えてもらえる機会になったと思う。（大滝山林組合）

### 参加者の声

- ・コロナ禍で旅行もほとんどできずにいたので、長野木曾で2日間充実した日を過ごすことができ良かった。（50代男性）
- ・製材体験、歩留りや木取りなど、普段耳にしない言葉を知ることができ、また材木加工の現場体験をすることで、木への愛着がさらにわいた。（20代男性）



間伐



玉切り



製材所見学



製材品について説明を受ける

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

間伐面積：1.86ha

製材体験：1回

##### 参加者数

県内：13人

県外：36人

計：49人

## 高田松原再生整備事業

岩手県陸前高田市



## 事業概要

東日本大震災で壊滅的な被害にあった名勝・高田松原（岩手県陸前高田市）。2017年以降は地元NPO団体が中心となりクロマツの植樹も始められている。植えられたクロマツの苗の背丈ほどの雑草も生い茂っているため、マツの生育など維持管理を目的として、除草活動を行った。あわせて震災の様子を学び次世代に語り継ぐことを目的として、地元ガイドと市内の震災遺構を巡り、震災当時の状況や今の復興の様子を学ぶ防災学習も行った。

## 事業成果

令和3年9月と令和4年5月の2回を予定していたが、令和3年9月は新型コロナウイルスの影響を考慮して開催

を中止した。5月については、人数を限定したうえで草刈りを実施。植樹した木々も順調に生育していることを確認できた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・コロナのため、ボランティアが集まらない状況があるが、今回も来てもらっていっしょに作業ができて、良かった。除草作業もはかどった。

## 参加者の声

- ・分たちが植栽した苗木が順調に育っているところを見られて良かった。(50代男性)
- ・除草作業は大変だが、きれいになっていくのを見ると達成感も得られた。(40代男性)



除草作業



参加者のみなさん



防災学習



防災学習

## 実績とりまとめ

**作業内容**  
除草：0.08ha

**参加者数**  
県内：7人  
県外：7人  
計：14人

## 千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林の再生事業

千葉県山武市



### 事業概要

津波被害からの減災や大雨による土砂流出の予防と国民の森づくりへの関心喚起から参加機会の創出をめざし、津波被害林で以下の森林整備事業を実施。

- ・千葉県山武市(海岸防災林) ①下刈(植栽エリア4ha)、②間伐・枝打ち:中止(オミクロン株の急速な拡大のため)

### 事業成果

新型コロナウイルスによる影響で、広く市民が参加するボランティア活動を展開していくことは困難だったが、県内企業ボランティアの受け入れを積極的に行ったことで、滞りなく作業を終えることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ボランティアで植えた苗木が成長していることが分かって、参加して良かったと実感する。(社員ボランティア担当)
- ・きちんと手入れを続けてくださっているお陰で、苗木が大きく育ってきた。(行政関係者)

### 参加者の声

- ・プロでなくても参加できるボランティア機会がうれしい。暑くてもがんばりました。(40代男性)
- ・人の手が集まると広い面積が刈り終わる。その場に立ち会えると嬉しくなる。(50代男性)



下刈



木を傷めないように作業



下刈作業後



海岸防災林

#### 実績とりまとめ

**作業内容**  
下刈面積：4ha

**参加者数**  
県内：52人  
県外：32人  
計：84人

## 八王子市上川の里特別緑地保全地区の整備事業

東京都八王子市



### 事業概要

手入れ不足から照葉樹林化が加速している人工林の伐採と地拵えを行い、暗い森から明るい森へと再生させている。以下の事業を行った。①除間伐と支障木の伐採・整理。②未整備のエリア2haの除間伐と支障木伐採と整理、枝払い、ツル切り。③伐採木の利用。階段や落ち葉ストッカー等に利用した。土砂流出の可能性のある場所への立ち入りが困難となったため土留作業は中止。

### 事業成果

伐った木の利用までを一連の流れとしたボランティア活動へと変化を見せている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ボランティア活動を通じて、報道で目にする土砂災害が森づくりと密接な関係にあるのだと理解できた。(一般参加者)
- ・従業員の環境意識を高めたく参加した。地道な取り組みだが、長く関わりたい。(企業CSR担当者)

### 参加者の声

- ・自分たちで伐った木を使って山の手入れができるのはうれしい。(40代女性)
- ・子どもの学校の授業でSDGsを勉強していると聞いて、実践的なことをしたくて参加した。(30代男性)



森林整備



支障木を除去



伐採木を杭などに活用



作業道整備

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積：2ha  
森林資源活用：600本

#### 参加者数

都内：97人  
都外：75人  
計：172人

## 北浅川上流地区の森にホテルを飛ばそう！

東京都八王子市



### 事業概要

目的は、森林内の土壌改善を通じて沢を復活させ、森全体を健全化させるとともに水源かん養機能を高めながら生物多様性の高い豊かな森を創出する。主な活動は、①沢水の流れを停滞させている箇所を枝や土砂等の除去、②沢周辺の法面で表土が流出しやすくなっている箇所に、枝葉を利用して小規模な土留めを作成、③炭や有機物を活用した土壌改善、④溝や穴を掘ることでの大地の呼吸口づくり、⑤活動エリアの危険木等の伐採等。

### 事業成果

枯れた沢の両側斜面に入って簡易な作業道をつくったり、林床に散乱した落枝等を用いた雨水を大地に受け止めるための造作を広範囲に進めた。法面に通した簡易な作業道脇に溝を掘ったり道沿い法面に土砂崩落を抑えるための点穴づくりなどの造作を地道に続けた結果、沢底まで崩落して

堆積してしまう土砂の流出を大幅に抑えることができ、長く雨が降らない時でも、水が残り続ける場所なども現れてきた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森林再生や生物多様性の創出のため、場当たりの生きものの放流をせずに環境そのものを改善していこうという会の活動は高く評価している。環境問題を語るだけでなく身近な場所から行動に移している点が素晴らしい。(環境活動団体)

### 参加者の声

- ・手作業で、こうした取り組みをして来たのを見て、すごいと思った。沢水の詰まりを取って流す作業をしたが、人が手を加えることで良くなる。こうした取り組みが、もっと広がっていくといいと思った。(40代編集者)



広葉樹を植樹



沢の整備



法面の整備



階段づくり

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付本数：20本  
地拵え等：20回

##### 参加者数

都内：170人  
都外：49人  
計：219人

##### 樹種

落葉広葉樹

## 自然と森を学びながら行う富士山南麓の森林復元活動

静岡県富士市



### 事業概要

静岡森林管理署との協定に基づき、富士山南麓の国有林を天然林に復元する活動。1996年に台風被害を受けたヒノキ人工林跡を広葉樹林に戻すための維持管理、保育活動。遷移を進めるために天然林の構成樹種を補植する。補植に使用するために天然林から種子や山取苗を採取、苗木の育成を行う。季節に応じて春期に補植、夏期に下刈・ツル切り・低木類の刈り払い等、秋期に種子採取、通年の保育作業として苗木の育成、土壌保全等を行う。同時に環境教育の効果に合わせて持った活動にすることを目標としている。

### 事業成果

新たに企業から社員ボランティアの打診がある等、いく

つかの新規問い合わせがあった。柔軟に対応して継続的な活動参加、協力関係に結びつけていきたい。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・新型コロナの影響により学校主体の行事や活動は大きく影響を受けてしまう。一方、外部で継続的に活動を受け入れている団体があることは、その団体の受け入れ状況に応じて相談をできるため、参加しやすくありがたい。(東京農業大学教員)

### 参加者の声

- ・進路を検討するため様々なフィールド活動に参加している。話を聞くことができ参考になった。(高校生)
- ・家族で楽しく学び活動ができた。(40代会社員)



種子採取



参加者が育てた苗木の仮植え



低木間伐と下刈



自然林での学習活動

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.3ha  
 植付本数：350本  
 下刈面積：0.6ha  
 除伐面積：0.6ha  
 自然観察会：4回

##### 参加者数

県内：19人  
 県外：142人  
 計：161人

##### 樹種

広葉樹23種



## 世田谷・川場上下流連携の森林活性化事業第II期

群馬県川場村



### 事業概要

放置されている群馬県川場村内の人工林を下流域の東京都世田谷区住民が地元の地権者等の村民と協力して整備する。主な活動は、①地元住民と協力した除伐・枝打ち・間伐、②植林後の低木育成のための下刈、③間伐材を燃料に。近くにある広葉樹や竹林・マツ林の整備で発生する材を原料として炭焼きならびに地元で計画されているバイオマス利用への協力、山間地散策路整備への材料提供・作業協力等による「循環型」の森づくりのサイクルの完成。

### 事業成果

川場村で進められてい間伐竹材のバイオ肥料づくりへの

協力である竹材の粉碎機による材料づくりが進展した。新たな間伐材利用方策として保養施設(世田谷区民健康村)近くの林間散策路整備に間伐材を提供するとともに道づくりを実施した。ただ、コロナの影響で参加者が大幅に減り、地元との共同作業も中止となった。一方、地元森林組合の指導で大型機械との連動作業の研修会を実施、一定の間伐実績が残せた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・村で推進しているバイオ肥料づくりへの協力に感謝している。(川場村村長)
- ・散策路づくりへの材料提供と参加は大変に助かっている。(世田谷区民健康村所長)



下刈



森林整備



道づくり



竹材処理

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

間伐本数：10本  
下刈面積：0.8ha  
除伐面積：0.4ha  
間伐面積：0.8ha  
木炭づくり：2回

##### 参加者数

計：99人

## 都市近郊の新しい里山づくり

東京都八王子市



## 事業概要

大都市近郊の里山が放置されたままになり、対象地も近隣の人々が近づかなくなっている現状を、森林の手入れをする事で解決したい。①その一歩として、繁茂し過ぎたササを駆除する必要がある。②タケの繁茂で、里山が暗くなりかつ生態系が壊れているのでタケ伐倒が必要。③伐倒したタケの処理、その方法としてタケ粉碎とタケベンチを作成。④タケを伐倒してできた空き地に、元の植生であるコナラやクヌギなどの苗木の育成。⑤高齢木が多くなり、枯れ木も増えているので、森林の若返りと里山としての美化作業。⑥地域の人を対象地に関わり、今後の森林文化を成熟させたい。

## 事業成果

ササ刈をした所が、再度ササが出てきたので草刈機で払う。伐倒したタケは自治体の規則で緑地の外に出せないで積み上げた。タケベンチを製作、防腐のため焼入れをし

た。広葉樹の苗が育ち、大苗植林の準備ができた。高齢木の伐倒は特殊技術が必要で、その段取りができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・きれいになり散歩しても気持ち良くなった。タケベンチは金具を使わない凄い技術だ。(近隣住民)
- ・八王子市だけでなく全国的な里山手入れのモデルになると思う。(イベントプロデューサー)

## 参加者の声

- ・刈った後すぐにササが生えて来て、これはどうなるのかと思ったが、2～3年経つとササが弱まるのが少しずつ実感できている。
- ・伐倒が進んで斜面がだいぶ明るくなった。しかし明るくなると草がすごく生えてくることも分かった。
- ・近所の人たちに声かけし、なるべく地域の人間で管理していけるようなシステムを整えられたらと思う。



ササ刈



高齢木の伐採



高所での作業



林内が明るくなってきた

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積：5ha  
除伐面積：5ha  
間伐面積：2ha  
竹材によるベンチ製作

## 参加者数

都内：200人  
計：200人

## 秩父市久那上ノ山及びその周辺山林の整備と保全

埼玉県秩父市



### 事業概要

荒れた里森を整備し、山野草豊かな森、ホタルの棲息する多様性豊かな森づくり活動を、地権者、地域住民と交流を深めながら取り組む。①月2回の定例活動日、②人工林(スギ)の除伐、林床整理、③湧水路の整備とホタルの放流、④竹藪を除伐・地拵え、一般参加者とともに広葉樹の植樹会を開催、⑤一般参加を呼びかけ、タケ・除伐材を使ったイベントや対象森林の視察・調査を兼ねた観察会を行った、⑥地域物産まつりの実行委員会との交流などを進めてきた。

### 事業成果

「竹鉢づくり」「水てっぽうづくり」「ブンブン独楽をつくって遊ぼう」など親子参加の体験会、除伐地を地拵えして

「植樹会」を行った。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ 藪化していた林地もツル植物の除去や生育不良木の除去が行われ、林床に光が届くようになった。水はけの悪かった林床もだいぶ改善された。複数の活動で親子の参加があったことも意義深い。継続性のある体制を築くことが課題と思う。(森林インストラクター)

### 参加者の声

- ・ 里森について何も知らずに入会し、少しずつ勉強している。これからも、先輩会員の作業を見習いながら、技術を身に付けていきたい。



除伐



広葉樹を植樹



ノコギリを使うのは初めて(竹鉢づくり)



「竹鉢づくり」「水てっぽうづくり」に参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：20本  
除伐・下刈面積：0.6ha  
イベント：7回

#### 参加者数

県内：10人  
県外：120人  
計：130人

#### 樹種

ヤマザクラ、トチノキ、カツラ

## 相模湖若者の森づくり、知足の森整備活動

神奈川県相模原市、東京都小金井市、江東区



### 事業概要

中高生が主体となって、放置林の間伐・枝打ち作業を行った。さらに拡大するニホンジカの本対象地での影響を調査するためにセンサーカメラを設置し、継続的にモニタリングした。またこれらの成果物を中心に、紹介動画、森のVR体験などをエコプロ2021「森と木で拓くSDGsゾーン」に出展した。

### 事業成果

台風崩落地と周辺放置竹林を整備し、100㎡と狭い範囲であるが、センダンを植樹した。また、小金井市環境政策課の事業を受け、計4回の森林体験、間伐材搬出体験を実施、材は市施設を中心に成果物を寄贈するために活用した。

### 事業をよく知る関係者の声

・多くの若者が森に定期的に通い、間伐などの森林整備を行うだけでなくその間伐材を自分たちで活用し社会に実装させることで、中学生、若者の社会に対してポジティブな影響を与える能力や意志が育成されると同時に、新しい森林の活用のあり方を提示している。(東京学芸大学教授)

### 参加者の声

・長い時間かけて頑張ったので達成感があった。今回の活動で木の伐るコツを学んだり、自然の恵みや凄さを感じた。日光の当たる部分を増やして、木が大きく成長してくれたら良いと思う。(中学1年男子)



森林整備



間伐



枝打ち



環境展に参加

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付本数：30本  
間伐面積：2ha  
木工製作、積み木イベントほか

##### 参加者数

県内：55人  
県外：490人  
計：545人

##### 樹種

センダン

## 都市の里山資源の活用推進事業

神奈川県横浜市



## 事業概要

都市の里山保全活動では、活動によって産出する間伐材や樹林地内の植物等が資源は、自団体が活用する他ほとんど活用されていない。持続的な里山保全及びその活動を推進するため今年度は、当会が活動する川井特別緑地保全地区のボランティア、スタッフ、一般参加者を対象にグリーンウッドワークにかかる入門講座及び、グリーンウッドワークで使用する「削り馬」づくりワークショップを開催した。

また、当該団体の定例活動日である第2、第4日曜日に、木材の伐採、定例活動として樹林地整備や製材作業を継続して実施した。

## 事業成果

昨年度習得したグリーンウッドワークによる生木の活用技術の取得、今後この技術を活かした講習会の開催などに向けた、準備を行うことができた。ウマの整備、講習方法の習得など。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・生木から完成品をつくり上げ、ものづくり体験として完結できている。
- ・間伐材を使用しており、地産地消を実現している
- ・フィールドで自然を感じながら活動できた。今後の課題は、①道具を拡充する、②講師のスキルアップ、③作品実例を増やすなど。これらよりWSが活性化する事により、森づくりNPO活動の安定化につながると考えられる。(担当者)

## 参加者の声

- ・生木を加工するので、材料となる木材の特性を活かす点に魅力を感じた。木を削るときには集中して無心になれる。(50代男性)
- ・複数の講師がいたため、作業中にわからないことなど、きめ細かに指導してもらえた。(60代男性)



ミズキの伐採



木作業の台「削り馬」づくり



「削り馬」を使って木工作



草刈り

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積：5.4ha  
除伐面積：5.4ha  
間伐面積：5.4ha  
研修会：2回

## 参加者数

計：393人

## 山北町丸山地区森林整備

神奈川県山北町



### 事業概要

整備地は小高い山の斜面で30年生以上のカシ類が多く未整備な森林である。カシ類の実生木が多く林内に乱立している、これらを間伐や枝降しを行い森林の機能回復を図る。年間2回草刈りを行う。学生達のチェーンソー作業体験として薪づくりを行っている。

### 事業成果

令和2年3月に山北町丸山地区整備隊を結成して活動を行っている。もともとここで活動していた「森友」の学生への森林整備活動の指導を兼ねていて、いつコロナ禍が終っても指導できるように体制を整えている。幸い今年4月より学生の参加が始まり体験と指導ができるようになった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・雑然とした森林が活動の回数や年月が経過するごとに見違えるほど森林になってきた。(山北町職員)
- ・コロナ禍により学生達が参加できず今後は非常に心配、山北町丸山地区整備隊の方々の高齢化も心配される。(森林ボランティア団体職員)

### 参加者の声

- ・常緑広葉樹の伐採は樹間上部の枝絡みやツル絡みでロープワーク作業をしないと難しく危険だ。(経験者)
- ・斜面が急峻でまともに歩けず滑りやすい、このような所での間伐や除伐作業は安全に充分気を付けたい。(経験者)



カシの伐採



協力して安全に伐倒



森林整備



機材整備の研修

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：0.9ha

伐採本数：54本

チェーンソー体験：1回

##### 参加者数

県内：39人

県外：65人

計：104人

## 親子が安心して遊べる「フーのきの森」整備

新潟県魚沼市



## 事業概要

当施設「絵本の家ゆきぼうし」の一部である「フーのきの森」を訪れた親子が安心して遊べるような森の整備である。主な活動は以下のとおり。①団体メンバー、ボランティアによる工事前の除草・伐採作業、②工事前の森の環境・生物現状把握のための観察会、③団体メンバーとボランティアによる池の環境整備、④森と池周りの安全面を考慮した環境整備工事、⑤森の環境・生物の変化調査のための観察会。

## 事業成果

森の奥に入るための作業道、新たに周回コースができ、森で遊びやすくなった。また作業道具の搬入が容易になり森の環境整備がしやすくなった。道が細くなり危なかった池の間の道が、工事により足場が固められ、子ども達も安心

して通れるようになった。来年度に向けての依頼も増えた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・貴重な動植物が生息している良い森。今回、森と池周りの安全面での環境を整えたことで、今までよりも安心して、子ども達も遊べる。地元の人でも、ここを知らない人もいたので、そのアピールをもう少しできるとより良いのではないか。(魚沼自然大学)

## 参加者の声

- ・池の周りだけでもたくさんの生き物がいるのがわかった。(小学生)
- ・池の整備は胴長を履いて池の中に入ったら、だんだん楽しくなって、みなさんと協力しながら、楽しく整備ができた。(ゆきぼうしスタッフ)



池の整備



下刈



歩道整備



動植物観察会

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積：4ha  
 除伐面積：4ha  
 森の観察会：2回  
 作業道づくりと補修

## 参加者数

県内：50人  
 計：50人

## 丹波山みんなの森づくり・防災事業

山梨県丹波山村



### 事業概要

事業の実施場所は急峻な箇所やがれ場があり、崩れる恐れがあるため、どのような整備をすべきか専門家の意見を取り入れながら、住民、企業が連携して防災の森づくりを行う。また、体験を通じた森の利活用や生業づくりをめざす。主な活動は以下のとおり。①1年目の現状評価及び森林全体の整備・活用方針を具体化する全体デザインの検討、②遊歩道の改修計画の策定・実施、③防災を目的とした森林整備、④枝葉を活用した精油の抽出等に関する勉強会、⑤間伐材を活用した木製品製作ワークショップ。

### 事業成果

防災の森づくりを専門家や住民や企業等と共に進めることができた。また、森林の利活用、生業づくりとして枝葉

を活用した精油の抽出などの事業も進み、商品化まで進めることができた。作業歩道とともにながれ場の崩れ防止が進んだ。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・丹波山村を知る良い機会になった。(企業担当者)
- ・枝葉がお金に代わるとは思っていなかったので新たな可能性を感じた。(林業者・蒸留所)

### 参加者の声

- ・プロによる間伐施業地を見学し、森の循環とその果たす役割を学べた。小さな力が今は必要だと感じた。(企業参加者)
- ・整備された森にすがすがしさを感じた。(企業参加者)



検討会



作業道整備



作業道整備後



木材活用ワークショップ

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

ヒノキ枝葉：約70kg  
横木用木材：300本  
歩道整備：約226m  
木材活用WS：1回  
蒸留勉強会等：4回

#### 参加者数

県内：67人  
県外：70人  
計：137人



## 間伐整備活動で取組む三河湾の生態系の保全

愛知県安城市、岡崎市、豊田市



### 事業概要

愛知県三河湾の約41%の干潟が失われた。栄養分と良質な砂を持続的に供給する森づくりを目的に間伐整備に取り組む。

### 事業成果

愛知県岡崎地区私有林で54回、豊田市羽布町県有林の間伐整備活動を1回実施した。また、会員の安全性の確保と間伐技術スキルアップを目的とした研修会を2回実施した。

### 事業をよく知る関係者の声

・間伐こもれび会は、年間（週1回）を通して間伐活動を実

施している。熱中症対策として一部会員は空調服を使用しているが、参加者全員の熱中症対策が必要だ。（会員）  
 ・参加者のための貸し出し用の安全装備等の充実が望まれる。（会員）

### 参加者の声

・環境保全の重要性やSDGsに関する知識や興味はあった。間伐整備作業の現場を親子で体験できたことは大変良かった。（50代主婦）  
 ・間伐作業体験者のSNS等に上げられた感想や画像・動画を見て、活動を知り間伐体験に参加した。初めての体験ばかりで新鮮だった。（40代主婦）



間伐



間伐材搬出



作業道新設



間伐材でつくった積み木を保育園に贈呈

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：5.18ha  
 除伐面積：5.18ha  
 間伐面積：5.18ha  
 森林資源活用：130㎡  
 作業道整備：200m  
 ワイヤー設置：150m  
 講習会：2回  
 イベント：5回

##### 参加者数

県内：238人  
 計：238人

## 資源利用と環境学習によるやまんばの森再生

滋賀県米原市



### 事業概要

放置された里山を持続的に保全するため、森林資源を薪等として積極的に循環利用するとともに、森林環境学習・自然体験により将来の人材を育成した。また、老朽化した環境学習等の拠点施設の一部分について修繕を行った。

### 事業成果

除伐作業において、会員が刈払い機で行ったところ、キックバックが起きることがあり、注意深く行う必要があった。また、ガールスカウトなど小学生であっても手ノコであれば安全に除伐作業を行うことができた。今年度も滋賀県内において何度かコロナ感染拡大の波があったが、相互に感染予防措置を行ったことでクラスターの発生はなかつ

た。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・墓等を損傷することなく伐採を行っている状況を見て信頼感が生まれた。また、隣接する保育施設に影響を与えそうな所有地の樹木伐採の依頼にしっかり応えたことで大変感謝された。

### 参加者の声

- ・高所伐採を含めチェーンソー作業に関心のある若手会員が、安全技術を習得したうえで、もっと積極的に参加したいと思うようになった。米原市に移住してきた薪ストーブユーザーが新たに会員となり、楽しく活動に参加している。(会員)



高所での枝払い



除伐 (森林環境学習)



竹材の運び出し (自然体験)



施設の修繕

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積：1.1ha  
 森林資源活用：軽トラ48台分  
 施設修繕：2回  
 高所伐採作業：10回  
 自然体験：5回  
 森林環境学習：2回

#### 参加者数

県内：324人  
 計：324人

## 放置竹林を生産性のある竹林モデルに変換

京都府木津川市



### 事業概要

放置竹林を整備して、タケノコを生み出してくれる竹林にし、タケチップや竹炭などを作り生産性のある竹林に改革していく。ボランティアグループで月に2回以上を目標にタケの間伐を行い、竹炭や竹チップを生産している。また子どもたちにも竹林風景に親しんでもらうように竹林内にタケでブランコやツリーハウス、ターザンロープを設置してイベントを開催している。

### 事業成果

竹のブランコ製作、原木シイタケ栽培や竹炭やタケチップ

の製作およびイベントでの参加者増など。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ボランティアに来てくれる若者は増えたが責任をもって会の運営を考えてくれる後継者がいないのが課題。(理事)

### 参加者の声

- ・整備された竹林は気持ちが良いし、癒し効果がある。子どもを連れて時々遊びに来たい。(イベント参加者)



タケ伐採



竹炭づくり



遊具づくり



ターザンロープで滑る

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：10本  
 下刈面積：1.2ha  
 間伐面積：1.2ha  
 森林資源活用（竹炭）：0.4ha  
 イベント：6回

#### 参加者数

府内：317人  
 府外：158人  
 計：475人

#### 樹種

サクラ

## 里山整備事業

兵庫県加東市



### 事業概要

里山地域の森林整備を実施する。①温暖化の要因であるCO<sub>2</sub>の吸収、②森林資源生育、③野生生物の生存エリア確保と植物の生育、④災害発生要因防止、⑤生物多様性維持などを目的とする。当地域では農業・林業が衰退し、過疎化が進んでいる。森林活動を通じて地域の活性化に貢献することを考え活動を実施。

おもな活動は下記のとおり。①下刈、枯木・形状不良木除伐、②雑木除伐・間伐、スギ・ヒノキの間伐など。

### 事業成果

本年度は前年実施分に隣接する森林整備を実施する。ヒノキ・スギの間伐よりも繁茂した雑木・雑草の下刈、倒木、

雑木除伐、形状不良木除伐が主たる活動であった。今回の森林整備により森林機能が回復され、地域活性化に寄与できれば良いと考える。間伐材の有効利用先をさがしている。

### 参加者の声

#### ①生物調査

林内(ため池含)生物調査は他団体との協同実施を考えたがコロナ禍で見送り、自団体のみで実施した。生物(野鳥、カエル、ヘビ、昆虫、野草ほか)の確認と野生動物(イノシシ、シカ)が住居域へ出没しているのを確認した。

#### ②森のようちえん

昨年に引き続きイベントを実施予定であったが、コロナの影響もあり活動を自粛した。



森林整備



下刈



林内で見られるエビネ



地域の活性化をめざして活動

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

- 植付面積：2.5ha
- 樹勢回復：7000本
- 下刈面積：2.5ha
- 除伐面積：2.5ha
- 除伐本数：6000本
- 間伐面積：2.5ha
- 間伐本数：300本
- 作業路設置：10m

#### 参加者数

- 県内：219人
- 計：219人

#### 樹種

スギ、ヒノキ、広葉樹

## 矢田山の憩いの場とする豊かな自然の森づくり

奈良県奈良市



### 事業概要

活動の場所は県立矢田山遊びの森の芝生の広場に続くハイキング道であり、多くの利用者が訪れる玄関口でありながら、沿道沿いは枯損木が残っていたり、雑草が繁茂していたりと景観を悪くすると共に危険な状態でもあった。活動内容は主に、下刈、ナラ枯れして倒木となると危険な枯損木処理で、公園開設ときに植樹したモミジなどを残し景観回復に努めた。間伐で出た木材は薪やクラフト製作の材料として利用した。また、森林環境教育の講座を実施した。

### 事業成果

ナラ枯れの枯損木処理や広範囲の下刈の実施、今まで気づきにくかった谷筋の整備なども合わせて行った。年々枯損木の伐採の危険性・難易度が上がる状況であったが、メ

ンバーは伐採や工具の取扱いスキル、チームワークの向上をしながら安全に作業ができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・谷全体を見渡しても明るく陽が差し込み、野鳥が観察しやすくなり森林環境が改善された。伐採木を利用して公園管理棟での薪を使った暖房利用が進み灯油代の節約につながった。(公園管理者)

### 参加者の声

- ・定期的に整備をすることでこの谷に愛着が湧くようになってきた。
- ・明るくなった谷筋は気持ちがいい。
- ・作業中にハイカーさんから感謝の声を聞くことができ、やりがいのある活動になった。



枯損木の処理



モミジを補植



下刈



環境教育講座

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：40本  
 下刈面積：2.1ha  
 間伐面積：0.4ha

##### 参加者数

県内：186人  
 県外：9人  
 計：195人

##### 樹種

モミジ

## 根来山げんきの森再生事業

和歌山県岩出市



### 事業概要

活動する森林公園では2020年からカシノナガキタイムシによるコナラの枯木が目立ってきた。歩道への倒木や落枝の危険や、景観上の問題がある場合は、安全面と景観面に配慮した枯損木の処理を行った。伐採したコナラは木炭や薪として活用した。また、子どもたちを中心にコナラが枯れた森の再生を考えてもらうため、クヌギの植樹を行った。特にこの森は県内唯一とあっていいオオムラサキ生息地であるが、カシナガ被害木の樹液はタンニンが多く混じるため樹液に昆虫たちが集まらなくなる。それら昆虫たちの新たなエサ場としてクヌギ林の育成をめざした。

### 事業成果

県木炭共同組合会長の協力を得て満足の得られる炭窯を完成することができた。これを活用して、コナラ枯損木を活用し、月1回の木炭生産と薪の生産を増やしている。炭と木炭はコロナ下でのキャンプ利用が盛んになり、販売利

用も大幅に増加してきた。また、カシナガ激害地の復元のためクヌギを植樹した。これらの活動を通して公園利用者に里山での生命の営みと、昔ながらの里山利用についての理解を深めていただくことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・良い窯をつくったので、これを活用して良い木炭を焼いてほしい。スタッフは熱心な人たちが揃っているので期待できる。(県木炭共同組合会長)

### 参加者の声

- ・森の作業は危険が多いので安全に気をつけながら進めていきたい。整備された森は気持ちが良い歩いていて楽しくなる。(60代ボランティア会員)
- ・クヌギの植樹は穴を掘るのが大変だった。がんばってササを刈って木を植えた。大きくなってたくさんのオオムラサキが飛ぶようになってほしい。(小学生男子)



クヌギの植樹



被害木伐採



炭窯づくり



枯損木で木炭づくり

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha  
 植付本数：150本  
 枯木処理：42本  
 処理木運搬：35m<sup>3</sup>  
 木炭生産：1200kg  
 薪生産：7m<sup>3</sup>  
 植樹体験：3回

#### 参加者数

県内：608人  
 計：608人

#### 樹種

クヌギ

## 災害に強く脱炭素社会に貢献する森林づくり

島根県大田市



### 事業概要

国立公園内にある荒廃林（スギ人工林）を、災害に強く二酸化炭素の吸収源となる持続可能な循環型の森林へと再生すること。主な活動は以下のとおり。①荒廃林の一部を皆伐、スギ苗を1000本植栽、②植栽は、地元小学生及び市民主体で実施、③皆伐に伴う材の搬出用作業道の新設、④小学生向けにはSDGsと森林の役割についての学習会を実施。

### 事業成果

国立公園内の荒廃林を皆伐し植栽という新たな内容であった。遊歩道に隣接していることもあり、地元の市民は、森林の様変わりに驚いていた。児童及び市民による植栽活動は、ポット苗ということで作業効率が高く軽作業で終了した。児童達は、SDGsと森林の関りを体験を通じて学ぶ機会となった。これらのことにより循環型林業の緒に就くこと

ができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・二酸化炭素吸収との関連での事業は、今日的で意義あるものだ。（森林インストラクター）
- ・ポット苗の効果が抜群で作業性が高った。（林業従事者）
- ・市民が森林整備の一部を担うことができることが分かった。（林業事業体）

### 参加者の声

- ・体験を通じて、児童と森林の関りの大切さが理解できた。（校長）
- ・遊歩道に隣接した山林がきれいになり嬉しい。（30代女性）
- ・進入路が整備できて車の横付けができ助かった。（60代男性）



荒廃林の伐採



作業道整備



植樹地の整備



小学生がスギを植樹

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.5ha  
 植付本数：1000本  
 伐採・集材等面積：0.5ha  
 地拵え：0.5ha  
 草刈面積：0.5ha  
 片づけ面積：0.5ha  
 作業道整備：100m

#### 参加者数

県内：65人  
 計：65人

#### 樹種

スギ

## 番所鼻海岸防災林保全計画

鹿児島県南九州市



## 事業概要

荒廃した海岸防災林の整備を進めてその機能増進する。主な活動は次のとおり。①ツル切り、侵入竹の除伐を実施したのち、ギャップの生じた空間に植樹、②保健保安林としての機能を増進を図るため歩道98mを整備、休息のためのウッドデッキ等を整備した。これらの活動にあたっては、「穎娃おこそ会」との協働作業で実施するとともに近隣の大川子ども園の子どもたちも参加した。

## 事業成果

地域の方々との連帯感が醸成されるとともに活動参加者は受益者として海岸防災林保全の必要性の理解が進んだ。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・当該保安林は地域にとって重要な森林であり、かねて外から見ているが、中に入ると想像以上に荒れており、整備を進めることができて良かった。(南九州市都市計画課職員)

## 参加者の声

- ・いつも見ている保安林の整備活動に参加できてうれしい。(穎娃おこそ会メンバー)
- ・木を植えるのは初めてだけど楽しかった。(大川子ども園園児)



ツル切り



歩道にスギのウッドチップを敷く



子どもたちがマテバシイ、ハマヒサカキほかを植樹



防風垣の設置

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：180本  
 除伐面積：0.4ha  
 スギウッドチップ：12㎡  
 ウッドデッキ、防風垣作製

## 参加者数

県内：81人  
 計：81人

## 樹種

マテバシイ、ハマヒサカキ、ヤブツバキ、シャリンバイほか